

令和 4 年度
大阪ビジネスパーク都市安全確保促進事業

災害時行動確認訓練
実施計画書
(案)

目 次

1. 訓練の目的と狙い	1
2. 訓練全体の概要	3
3. 訓練実施計画	5

1. 訓練の目的と狙い

OBP 地区では、大規模災害時における地域の防災・減災対策計画として『大阪ビジネスパーク駅周辺地域都市再生安全確保計画』を策定し、これに基づいた地域における発災時の行動ルール等について平成 26 年度に『災害行動マニュアル』を策定し、以降これに基づいた情報伝達訓練、帰宅困難者退避誘導訓練等を毎年度実施してきています。

平成 28 年度から令和 2 年度までの訓練は、災害行動マニュアルに示した災害時の体制や、マニュアルに基づいて導入・配備してきた無線機や災害用備品の運用を実際に行うことを中心としてきましたが、訓練を重ねていく中で共助の必要性や自助に対する認識等に差が生じてきたため、令和 3 年度は発災時のエリアの状況変化をシミュレーションしつつ、より現実的な共助のあり方を検討する訓練を行い、OBP 協議会における共助のイメージを一定共有することができました。また令和 3 年度には情報伝達ツールとして、防災 WEB システムの構築を行いました。

このような取組を受けて、令和 4 年度は「防災 WEB システム」を使った情報伝達や助け合いのトレーニングを主目的とした訓練を行い、情報伝達ツールの多重化を踏まえた災害行動マニュアルの見直しにつなげる気づき等を得ることを目的として行います。

<OBP 地区・訓練の経緯と予定>

訓練		内容	対象エリア	目的
これまでの訓練	平成 27 年度 情報伝達訓練	無線機を使った情報伝達の検証・訓練	全エリア (防災担当者のみ)	情報伝達手段としての無線機の有効性の検証
	平成 28 年度 退避誘導訓練	一斉（一時）退避訓練 (大阪城公園へ一時退避)	南ブロック	各ビルの帰宅困難者を一斉にビル外に一時的に退避する場合を想定した行動訓練等
	平成 29 年度 退避誘導訓練	一斉（一時）退避訓練 情報収集・配信訓練	北ブロック	上記に加えて、域内無線 LAN を活用した情報の配信訓練等
	平成 30 年度 退避誘導訓練	一斉（一時）退避訓練 情報収集・配信訓練	西ブロック	令和元年度の全エリア一斉訓練に向けた災害時の退避行動の実効力を高めるためのスタッフ育成訓練
	令和元年度 退避誘導訓練	一斉（一時）退避訓練 情報収集・配信訓練	全エリア	全エリア一斉に防災担当者を中心となって災害時行動を実効する訓練
	令和 2 年度 退避誘導訓練	情報連絡拠点設営・運営訓練 情報収集・配信訓練	全エリア	ブロック毎に防災担当者による自立した災害時共助行動を実効する訓練
	令和 3 年度 災害時 行動確認訓練	大規模地震災害時の状況シミュレーションと行動確認訓練	全エリア (防災担当者参加のオンライン訓練)	地震発災後にエリアが置かれる状況を共有化し、その中で自助としての行動と助けが必要なこと、助けを求められた時の行動をシミュレーションする訓練
令和 4 年度 災害時 行動確認訓練		大規模地震災害時の状況シミュレーションと防災 WEB システムによる情報伝達・共助想定トレーニング	全エリア (防災担当者参加のオンライン訓練)	地震発災後にエリアが置かれる状況をイメージしながら、情報のやりとりと助け合いのイメージトレーニングを行う訓練

2. 訓練全体の概要

(1) 実施概要

実施日時：令和4年10月26日（水） 14：00～16：00（予定）

会場：災害対策本部：OBP 協議会事務局（ツイン 21 MID タワー31 階）
参加者はオンライン（ZOOM）

参加者：OBP 協議会・防災担当者 等

実施協力：中央区役所、都島区役所 等（予定）

実施内容：①災害時のエリアの状況シミュレーション（ZOOM 画面上で展開）
②情報収集・配信訓練（実働訓練）
・無線機による情報伝達（本部⇄防災担当者）
・防災 WEB システムによる情報伝達（本部⇄防災担当者）
・SNS への情報配信（本部スタッフによる）
③共助の想定・対応行動シミュレーション（ZOOM 画面上で展開）
・防災 WEB システムを使った助け合いトレーニング
・区役所との連携訓練

(2) 想定する災害・被災状況

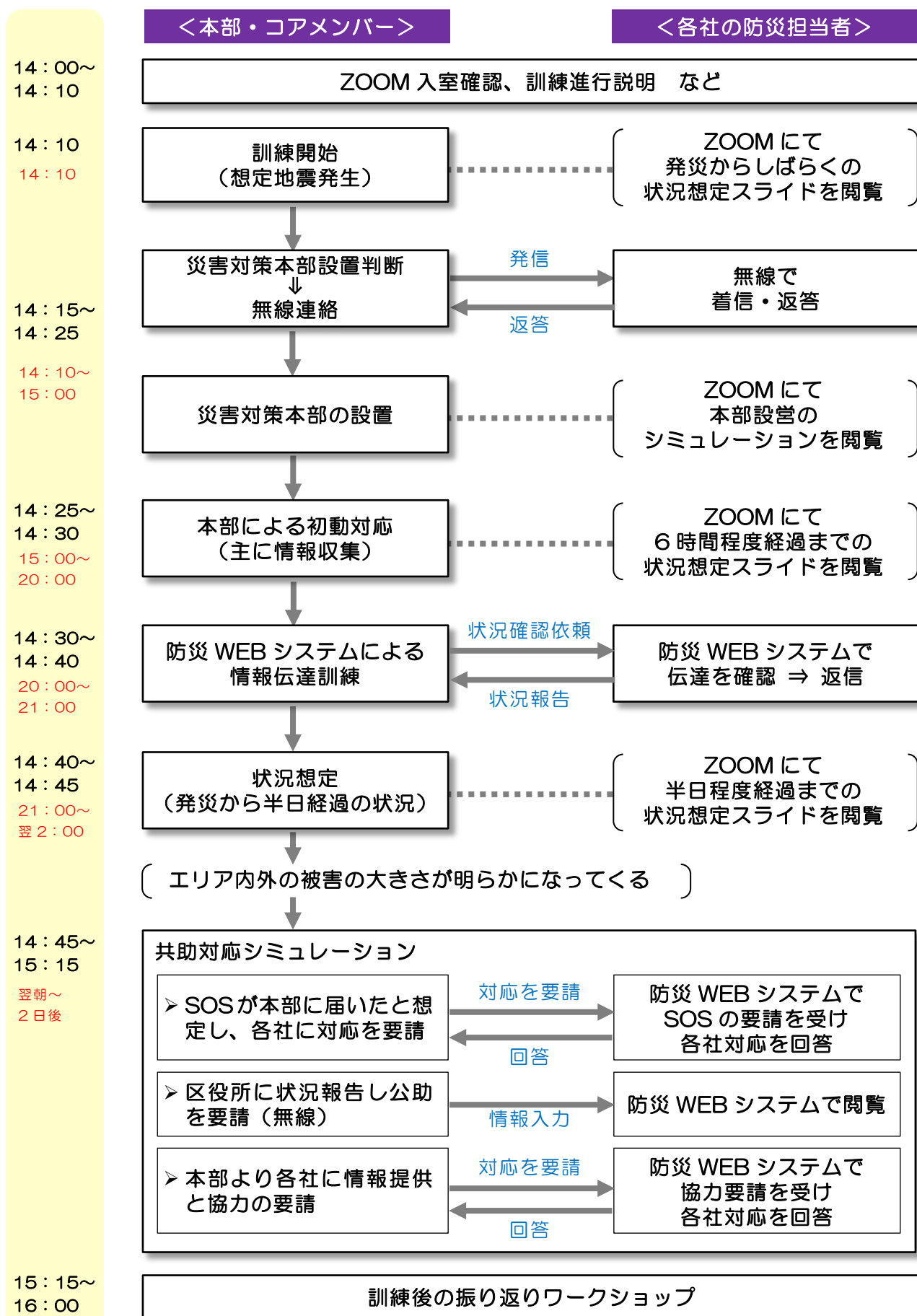
南海トラフ巨大地震が 14 時 10 分に発生した場合とし、以下の状況を想定して行います。

中央区の震度・・・震度6弱（長周期地震動が想定される）

<南海トラフ巨大地震発生時の OBP 地区の被害想定>

- 引き続き余震発生の可能性が大
- 津波による浸水は発生しない予想（発災後、大津波警報が発令されると想定）
- 揺れによる建築物の倒壊はない
- 建築物の倒壊はないが次の被害が予想され、安全確認のため建物内には入れない
 - エレベーターは停止
 - 本棚などの転倒・移動による散乱やケガ人の発生
 - 外壁、天井や壁、照明器具などの破損・落下
 - スプリンクラーの誤作動による水損
- 公共交通機関は運行見合わせ
- 電話は輻輳によりつながりにくく、発信規制も受ける
- インターネットは発災後しばらくは遅延が発生する場合もあるが、徐々に回復

(3) 訓練の流れ



※ 黒字の時刻は訓練進行上の目安です。訓練進行状況により前後することがあります。

※ 赤字の時刻は訓練上の想定時間

3. 訓練実施計画

◆訓練参加者は14:00の開始までに、オンライン会議に入室しておいて下さい。

(1) 訓練開始

14:10にZOOMにて訓練開始を宣言します。

(2) 無線通信訓練（本部 ⇄ 各社：無線担当者）

本部長より、各社着信確認をする旨の通信があったら、無線交信により着信した旨の返答をして下さい。

※ 無線は1:1の通信です。他者が通話中は待機し、その通話が終了したら呼出して下さい。

※ 14:20を過ぎても本部長の無線通話が入電しない場合は、ツイン21 MIDタワーに向けて見通しの良い場所へ移動してみてください。（地下は無線が入らない事が多いため、1階以上で通信して下さい。）

※ 上記でも通信ができない場合は、ZOOMチャットでその旨連絡されるか、事務局・松原まで電話を下さい。

松原 080-9508-9625



CH-13
UC-010

(3) 状況シミュレーション（その1）

ZOOM画面に発災から6時間程度経過までのスライドを配信します。

(4) 防災WEBシステムによる情報伝達訓練

- 防災WEBシステムに本部から各ビルの状況を伺う投稿をします。
- これに対して、返信の投稿をして下さい。（各ビル必ず1つ返答して下さい。）

防災WEBシステム
ログイン画面

(5) 状況シミュレーション（その2）

ZOOM 画面に発災から6時間～半日程度経過までのスライドを配信します。

(6) 助け合いのイメージトレーニング

ここからは発災から数日経過までを想定した情報の収集や配信、助け合い、区役所との連携などのイメージトレーニングを行います。（やりとりは防災 WEB システムを活用）

トレーニング①・・・あるビルからの SOS

〇〇ビルから WEB システムに投稿 （発災翌日の朝想定）	ビルの備蓄のある部屋の扉が開かなくなり困っています。 特に簡易トイレの数が足りません。助けてもらえませんか？ ⇒各社 WEB システムに回答を投稿
-------------------------------------	---

トレーニング②・・・あるビルからの SOS

〇〇ビルから WEB システムに投稿 （発災翌日の夜想定）	昨日より発熱する社員が増え、現在 15 名、ビル内で別室対応をしています。発熱した社員の中には基礎疾患のある者もあり、社内に動揺が広がっています。 重篤患者が出た場合など、救護要請は可能でしょうか？
-------------------------------------	--



この投稿を受けて、区役所への報告と連携訓練を行います。

＜OBP 災害対策本部＞

〇〇ビルで発熱患者が 15 名おり、重篤化した場合には救援をお願いしたい。

＜中央区・都島区＞

現在〇〇〇に救護所を設置しています。
もし重篤患者が出た場合、そこへ搬送して下さい。

無線

トレーニング③・・・本部からの助け合い呼びかけ

本部から WEB システムに投稿 （発災から 2 日後の 昼頃想定）	区役所からの情報で、明日には地下鉄鶴見緑地線等順次いくつかの鉄道が運転再開すること。 エリアのいくつかのビルで備蓄が不足していると連絡がきています。明日から順次帰宅できるとして、備蓄の提供等協力いただけることを投稿して下さい。 ⇒各社 WEB システムに回答を投稿
---	--

(7) 全体の振り返りワークショップ

参加者全員で、訓練中に共有した質問の回答を振り返り、意見交換を行います。

※訓練と同様、オンライン（ZOOM）にて実施します。